

# 抗議文

2019年5月28日

在本邦アメリカ合衆国大使館  
特命全権大使  
ウィリアム・F・ハガティ 閣下

日本国大阪府豊中市長 長内 繁樹

貴国が本年2月13日にネバダ州の核実験場で臨界前核実験を実施したとの報道に接しました。

豊中市は、非核宣言自治体として、核兵器は住民の生活と安全を脅かす究極の兵器であるとの認識に立ち、核兵器の廃絶を求めており、このたびの実験に対して、厳重に抗議します。

国連で核兵器禁止条約が採択され、国際社会が「核兵器のない世界」の実現に向けて努力するなか、核兵器保有や新たな核兵器開発へつながる核実験を実施することは、核兵器廃絶を願う世界の人々の期待を裏切るものであり、国際社会における核軍縮・不拡散への取り組みに逆行するものです。

また、今回の臨界前核実験は、第2回米朝首脳会談が開催された時期に行われています。アメリカの核の脅威が北朝鮮の核開発につながったことを考えると、貴国の新たな核実験は、今後の北朝鮮の非核化に悪影響をもたらすのではないかと懸念しています。貴国におかれましては、今後一切の核実験の計画を即時中止し、真摯に核軍縮に取り組み、「核兵器のない世界」の実現に向けた主導的役割を果たされるよう強く求めます。

貴職におかれましては、上記抗議内容について、即刻本国へ伝達されるよう要請いたします。